



統計スポット情報

NO. 150

20.10.30

福井県総務部政策統計課

— IT普及の先進県 福井 ～携帯電話とインターネットからみて～ —

私たちの生活はIT (Information Technology) の発展に伴い、10年前とは比較にならないほど便利になりました。携帯電話は今や国民1人に1台という割合で普及しており、デジタル社会に触れない日はありません。携帯電話はコミュニケーションとして重要な役割を担う一方で、デジタル社会特有のトラブルも引き起こしています。

そこで、今回は携帯電話とネット環境にスポットを当てて、福井県の情報通信分野に関する統計を集めてみました。

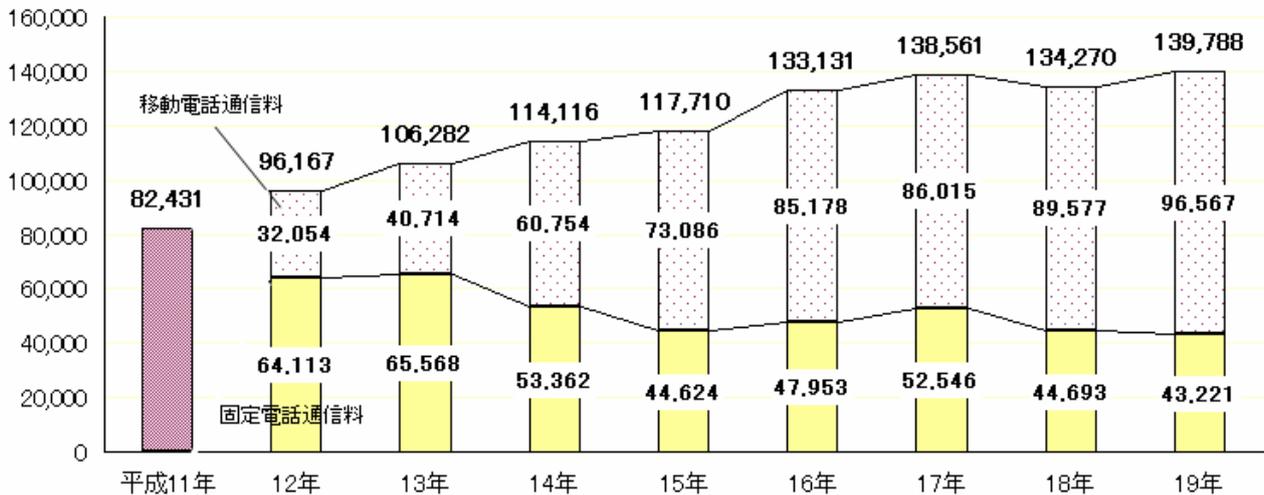


【携帯電話通信料が3倍に増加！】

携帯電話の普及に伴い、携帯電話通信料への支出が増加し、福井市の平成19年の1世帯当たり年間電話通信料は平成11年の1.7倍になっています。

携帯電話通信料への支出は、平成12年には固定電話通信料の半分でしたが、平成14年には固定電話通信料を上回り、平成19年には固定電話通信料の2倍となっています。携帯電話通信料の推移だけを見ると、平成19年は平成12年の約3倍の支出額になっています。

1世帯当たりの年間の電話通信料（固定電話・携帯電話通信料）への支出の推移（福井市）
（円）



※ 平成12年から、固定電話通信料、携帯電話通信料に分けて集計

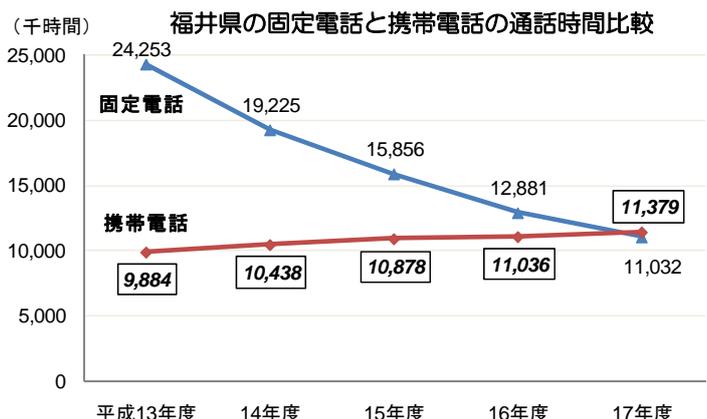
出典：家計調査

<携帯電話の通話時間も増加！>

「全国で携帯電話の通話時間が固定電話を抜いた」という総務省の公表をうけて、福井県の状況を調べてみると、平成17年度の時点で携帯電話の通話時間が固定電話を上回っていました。

コミュニケーションツールとして、携帯電話が普及していることが分かります。

出典：電気通信事業者協会調べ

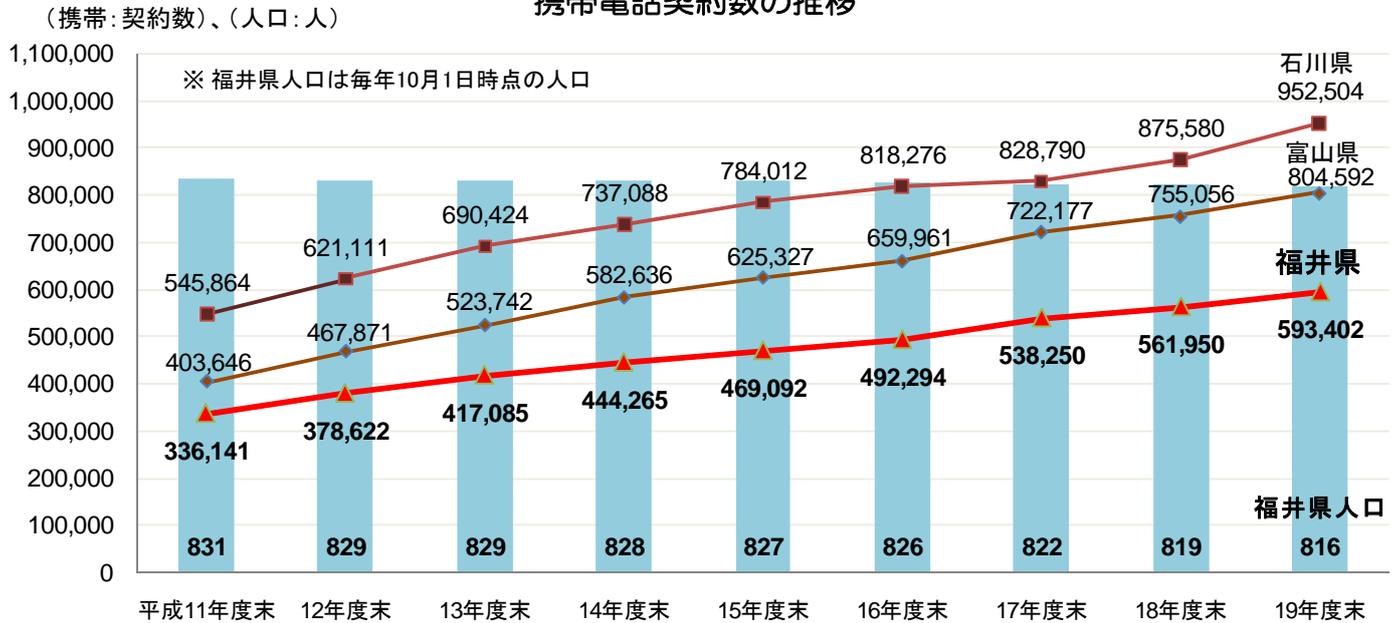


【県民の約73%の人が携帯電話を持っている !?】

平成 19 年度末時点の携帯電話契約数を見ると、福井県人口約 81 万人のうち、約 73%の人が携帯電話をもっている計算になります。これは、15～69 歳の福井県人口に匹敵する数です。

(ただし、企業が社員分をまとめて法人契約しているケースもあるため、県の総人口を上回る契約数になる場合があります。そのため、北陸3県のデータを掲載してありますが、厳密な都道府県比較はできません。)

携帯電話契約数の推移

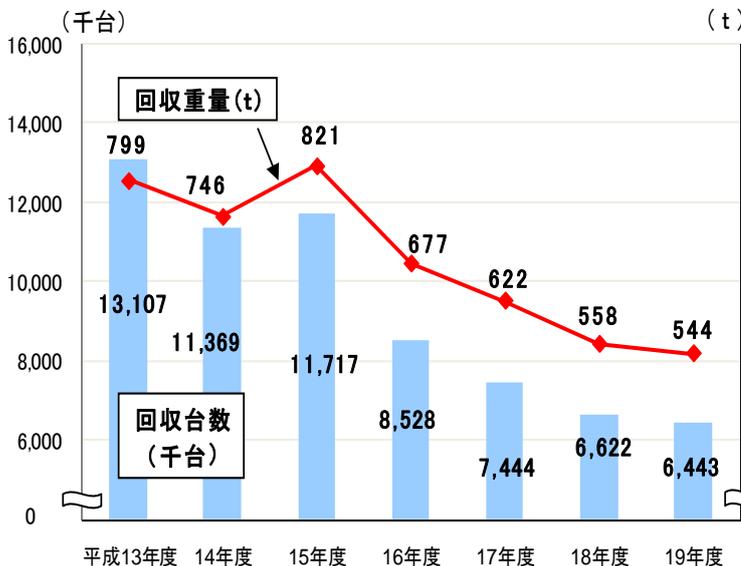


出典：北陸総合通信局、電気通信事業者協会調べ

【携帯電話・PHSの回収に御理解と御協力を！】

平成13年4月から、全国約 10,400 店（平成20年3月末現在）の販売店等で、使用済みの携帯電話・PHS を無償で回収する取組み（モバイル・リサイクル・ネットワーク）が行われています。しかし、その回収台数は全国的に年々減少傾向にあります。携帯電話には鉄やアルミといった一般的な金属のほか、金、銀、パラジウム等の貴金属、希少金属も広く使用されています。資源の有効活用のために、使い終わった携帯電話・PHS のリサイクルに御協力ください。

携帯電話・PHS 本体の回収台数と回収重量



出典：電気通信事業者協会調べ

携帯電話等の有用金属含有量

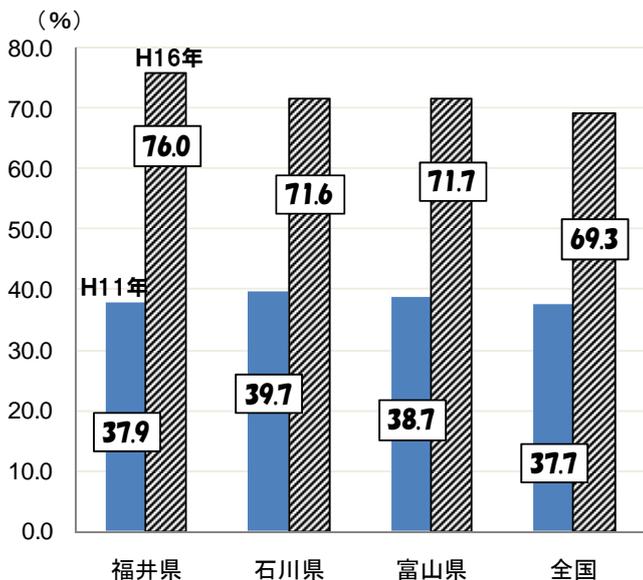
鋼種	携帯電話等に含まれる有用金属	参考: 鉱石の平均値
金 (g/t)	400	0.92
銀 (g/t)	2,300	93
銅 (%)	17.2	1.2
パラジウム (g/t)	100	181

出典：平成20年版環境・循環型社会白書（環境省）

【福井県の世帯普及率は全国上位！（パソコン、ケーブルテレビ）】

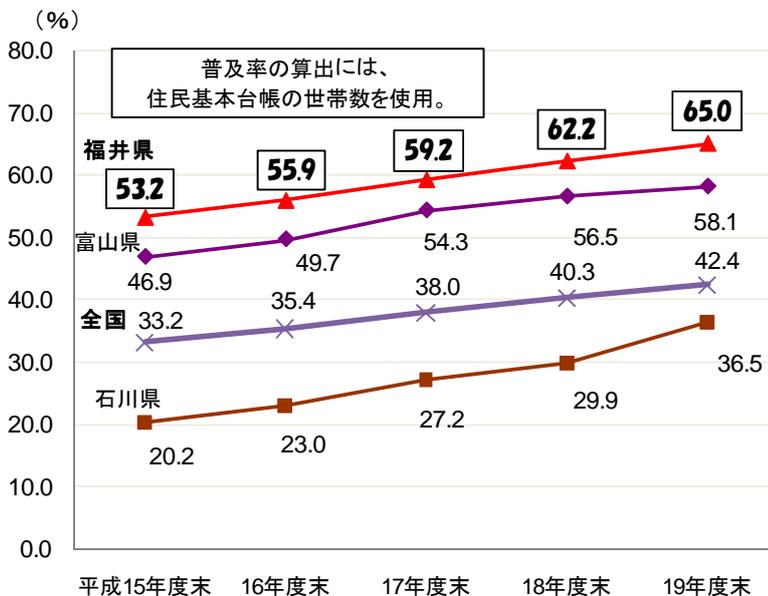
パソコンやケーブルテレビの世帯普及率をしてみると、福井県は世帯普及率が高く、パソコンでは全国3位、ケーブルテレビは全国5位となっています。北陸地方はパソコンの世帯普及率が全国に比べて高い傾向にあり、ケーブルテレビについても、福井県と富山県は全国を大きく上回っていることがわかります。本県の実態においては、ネット環境が他県に比べて整っている状況が窺えます。

パソコンの世帯普及率



出典：平成16年全国消費実態調査

ケーブルテレビの世帯普及率



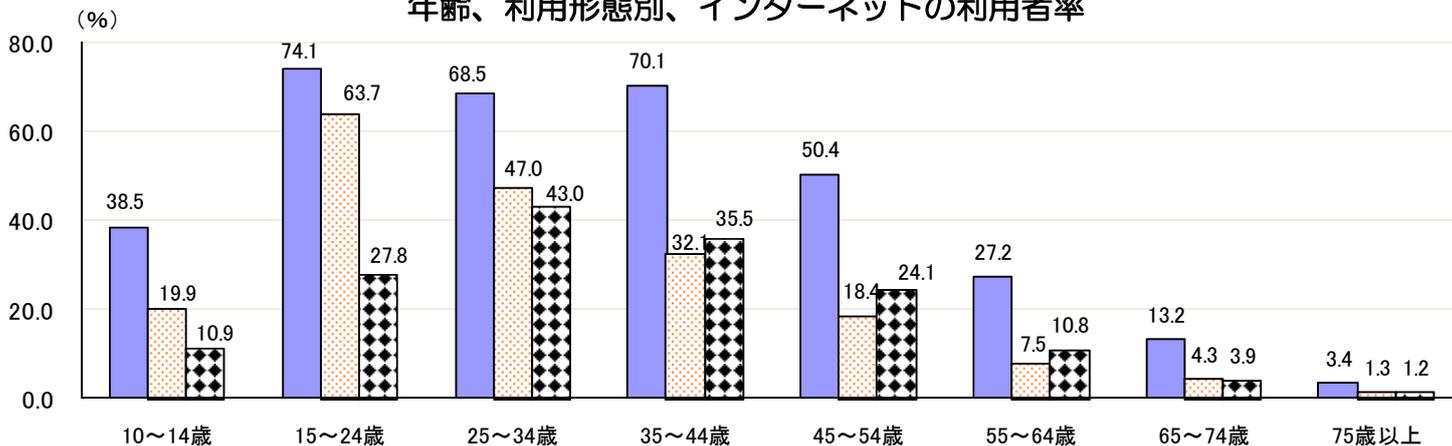
出典：北陸総合通信局調べ

【15～24歳は動画・音楽の入手、25～34歳はネット販売目的のインターネット利用者が多い！】

平成17年10月20日から平成18年10月19日の1年間にインターネットを利用した人の利用形態をみると、最も多いのは電子メールで、15～44歳の利用者の7割、45～54歳の5割、10～14歳の4割が利用しています。

画像・動画等の入手では15～24歳の6割、商品などの購入・支払いでは25～34歳の4割が利用するなど、若い世代を中心にインターネットが活用されており、生活に欠かせないものになっていることがわかります。

年齢、利用形態別、インターネットの利用者率

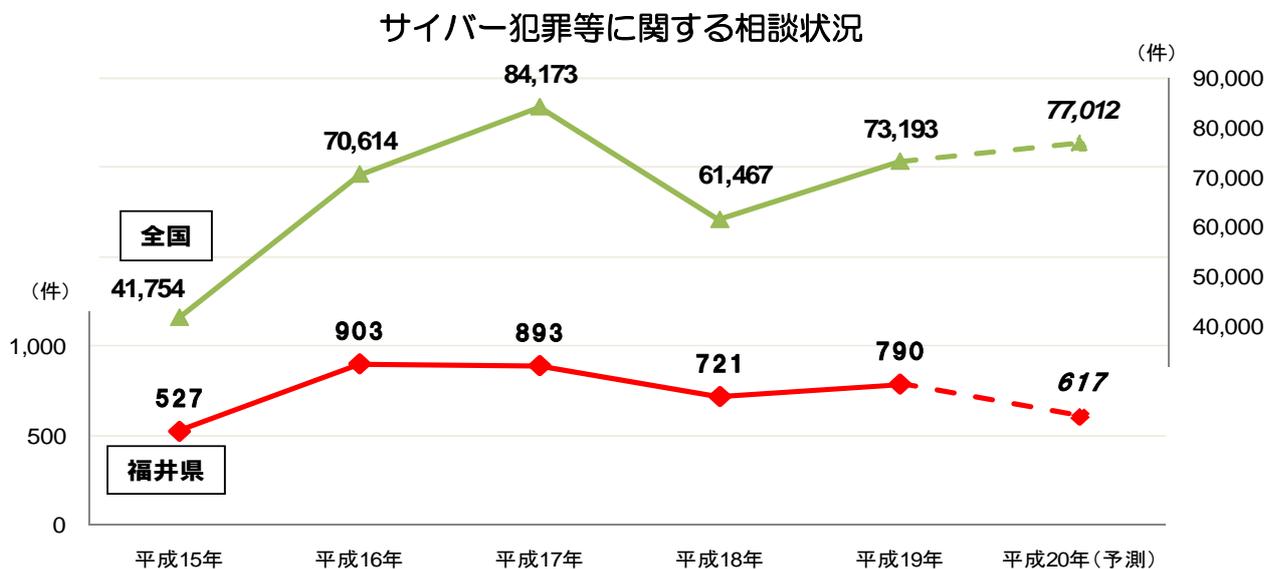


□電子メール □画像・動画・音楽データ、ソフトウェアの入手 □商品やサービスの予約・購入、支払いなどの利用

出典：平成18年社会生活基本調査

【サイバー犯罪に関する相談件数：福井県は若干減少、全国は増加傾向に】

携帯電話やインターネットの普及が拡大するにつれ、これらを原因とするトラブルも拡大しています。サイバー犯罪等に関する相談件数は、ワンクリック詐欺の対策強化により、いったん減少したものの、新たな手口の広まりから全国的には再び増加傾向に転じることが予想されています。



出典：福井県警本部サイバー対策支援室、警察庁サイバー犯罪対策

※ 相談内容における区分は以下の通り。

- 詐欺・悪質商法 ○インターネットオークション ○名誉毀損、誹謗中傷等 ○迷惑メール、○違法・有害情報
- 不正アクセス、コンピュータウイルス ○その他

※ 予測は、福井県：1～8月 全国：1～6月 までの件数を1年分に単純計算した数字である。

【参考：携帯電話には福井の技が盛りだくさん♪】

携帯電話には福井の技術がたくさん活かされています。抵抗器、コンデンサ、電子部品のメッキ、ボディ装飾など携帯電話の小型軽量化、高機能化、サービスの高度化に貢献しています。デジタル社会を根底から支える本県の技術は、縁の下の力持ちのように重要なものです。

統計調査からわかる福井の技



第1位	宮城県	20.3%
第2位	長野県	19.5%
第3位	福井県	13.8%

出典：平成18年工業統計調査

第1位	固定コンデンサ	136,901
第2位	その他の電子部品	89,770
第3位	駆動・伝導・操縦装置部品	83,955

出典：平成18年工業統計調査

第1位	秋田県	33.6%
第2位	福井県	13.4%
第3位	島根県	9.2%

出典：平成18年工業統計調査